

会 議 録 (概要)

会議の名称	平成 29 年度 佐渡市特別職報酬等審議会
開催日時	平成 30 年 2 月 2 日 (金) 14 時 00 分開会 15 時 50 分閉会
場所	金井コミュニティセンター 2 階 大会議室
議題	(1)市議会の議員の議員報酬の額 (2)市長、副市長及び教育長の給料の額 (3)市議会の会派及び議員の政務活動費の額 (4)特別職の 12 月期末手当の支給月数の改正
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	非公開 (佐渡市情報公開条例第 7 条第 5 号に該当するため)
出席者	<p>委員</p> <p>会 長 本間 進治 会長職務代理者 石井 裕子 委 員 長谷川 浩 (金融機関代表) 委 員 渡邊 武司 (商工業代表) 委 員 藤崎 一郎 (建設業代表) 委 員 氏江 亮 委 員 加藤マサエ 委 員 中川奈保子 委 員 羽生 満枝</p> <p>事務局 総務部総務課</p> <p>部 長 渡邊 裕次 人 事 係 長 柳澤 正二 人 事 係 主 任 小田 直樹 人 事 係 主 任 磯野 靖行</p>
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0 人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
本間会長 事務局渡邊部長 本間会長 事務局柳澤係長 長谷川委員	<p>事務局・新任委員自己紹介</p> <p>あいさつ</p> <p>諮問</p> <p>審議会開会</p> <p>会議資料説明</p> <p>佐渡市の経済状況は、実際の統計データで、県の平均と佐渡市がどうい う状況になっているかというところを簡単にお話したい。</p> <p>平成 26 年度の統計データで、対前年比で新潟県の県内総生産の平均成 長率は 0.2%で、一方、佐渡市は-5.0%で、新潟県の町、村を除く市 の中で、妙高市、糸魚川市に次いで下から 3 番目である。特に建設業の 落ち込みが非常に大きく、第 2 次産業が前年比-25%になっている。</p> <p>1 人当たりの所得については、新潟県の平均-1.6%、佐渡市は-2.8% である。県平均よりマイナス幅が拡大している。</p> <p>これらの数字から佐渡市は、新潟県の平均の倍のスピードで人口が減少 している中、公共事業、民間事業の縮小、後退により、建設関連の企業 活動が後退してきている。それを受けて、各出先や事業所が撤退、廃業 し、雇用にも影響している。所得の減少ということで、佐渡市の経済が 人口の減少に伴い小さくなっていることが見て取れる。</p> <p>この 1 年間、銀行員としてお客様と接した感じでは、今の数字よりも悪 くなっていると実感している。具体的には、建設業はさらに縮小し、小 売り、サービス産業の第 3 次産業は、プレミアム商品券の効果はあるも のの、昨年 4 月から佐渡汽船の運賃軽減により市民が島外に出やすくな り、佐渡での消費が落ち込みマイナスの影響が出ている。主要産業の 1 つである観光業は、観光客の入りが若干芳しくなかったと聞いている。 一方、製造業では、中国やアメリカの好況の恩恵を受けている企業もあ り、サービス業でも島外で販路を拡大している企業には追い風が吹いて いる点もある。</p> <p>総じて、平成 26 年度の統計に比べて、今は、良くなっていないと感じ ている。</p> <p>(1) 市議会の議員の議員報酬の額</p> <p>佐渡市の状況ということで、ご説明があったが、長谷川委員の意見を踏 まえて本日の審議を進めたい。</p> <p>平成 27 年度のこの審議会で示した議員の報酬及び市長等の給料 0.3% 引上げの答申が議員には反映されていないため、市長等と同様に 0.3%</p>
本間会長	

<p>事務局磯野主任 本間会長</p>	<p>引き上げた上で平成29年度に審議しようとして平成28年度は締め括りましたが、現状は議員の報酬は引き上げられないままとなっている。</p> <p>平成28年度の答申を受けたが、提案自体を見送った。</p> <p>昨年度はそのような状況であり、今年度についても職員の不祥事、寒波による水道関係の事故があり、厳しい状況ではあることを踏まえ、引上げあるいは据置き等の方向を協議してもらいたい。</p>
<p>藤崎委員</p>	<p>佐渡の景気は冷え込んでいて、建設業に携わるものとして切実である。生コン、砕石、運輸、燃料等と様々な業種とのつながりがあり、あらゆる業種で影響が出ている。</p>
<p>羽生委員 中川委員</p>	<p>景気が悪いから据置きでは、変化が起きない。引き上げたから経済が良くなるわけではないが、やる気を出して市も議員も一体となって頑張ってもらいたい。県内で最低水準に位置していることが問題である。</p>
<p>事務局渡邊部長</p>	<p>厳しい状況でありすごく悩む問題であるが、据置きでいいと思う。報酬を上げたら一生懸命やってくれるのかわからない。昨年度の答申が反映されていないことを再度、説明してほしい。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>佐渡市は県内でも低い水準にあるが、景気の回復を実感できていない中、議員としては市民生活を優先すべきとの声があった。市長から議会に提案するにあたって打診をしながら総合的に判断した結果、提案を見送った。</p>
<p>氏江委員</p>	<p>難しい問題であり、議員が多過ぎるという意見も聞くので、今は、景気が悪いので報酬を上げるべきでないと思う。議員数が減少する時に再考するべきと考えている。</p>
<p>長谷川委員</p>	<p>人口規模から考えると、県内中位にあるべきかと思う。今の状況では、上げる要素が全くないように感じる。単年度でわずかだけ上げても追いつくものではなく、例えば、5年間で県内中位まで持っていくといった方針を打ち出し、そのために議員数、職員数の削減、といった改革を進めなければならない。このままでいいとは思えない。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>最終的に考えるべきことは、財政状況、市民感情、仮に引き上げた時の議員のモチベーションが上がることによる市民への恩恵の3点についてである。前者の2つからすると上げるべき時期ではないと思う。3つ目は数字には表れないので、判断は難しいですが、上げることの効果の方が大きいと判断できれば、財政に大きな負担を与えない範囲であれば上げるべきであるし、議員が辞退するようであれば据置きだと思う。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>長谷川委員の意見に賛同する。佐渡では、毎年1,000人程度、人口が減少しているが、市、議会から有効な打開策、方針が出てきてい</p>

石井会長職務代理者	<p>ない。</p> <p>佐渡にいと、世間の好況は実感しにくく、不況はより大きく実感する傾向がある。</p> <p>一気に景気回復とはならないだろうから、報酬だけに限れば、据置きだと思う。市長等、議員には、実際に効果を上げる方向へ進む政策を打ち出すよう頑張ってもらいたい。</p> <p>難しい話である。災害等で大きなダメージを受けて多額の費用を出費している。高齢化が進み、あらゆる産業で衰退していけば、佐渡市を活性化したいと思っても空回りするばかりである。以前は、上げることに賛成していたが、議員からの市民生活優先の考えがあるのであれば、据置きだと思う。</p> <p>市長等、議員にお願いしたいのは、これから佐渡市で自分たちが暮らしていくための具体的な改善を各分野のスペシャリストから意見をお聞きになって、検討してほしい。</p>
本間会長	<p>みなさんの意見をお聞きしたが、私の考え方は、現状の負のスパイラルは理解するが、ある程度の報酬は確保していくべきではないかと考える。</p> <p>市長等は、何かあると自ら減額の条例提案をしており、市長の給料は合併当初 850,000 円であったものが、現在は 750,000 円である。議員は、この審議会の答申を受けて市長が提案しても市民生活優先を理由に、上げてこなかったのがここ最近の状況である。</p> <p>佐渡市は、県内 4～5 位の予算規模をもっており、人口が少なくても様々な行政需要を抱えている。議員の活躍も広範囲に渡っている。その観点からみれば、人口規模に合った県内中位程度まで上げてもいいのではないかといい気持ちを持っていた。</p> <p>しかし、みなさんの様々な意見をお聞きし、私の意見はなかなか難しいと判断している。</p> <p>先程の氏江委員の長期の計画的な考え方はなるほどと思うが、私たちの任期は、今回で終わる。目標を定め継続審議を提案するのは、難しいというのが実感である。</p> <p>みなさんのご意見は、引上げよりも据置きが強かったという印象である。</p>
藤崎委員	<p>据置きということに反対ではない。繰り返しになりますが、人口規模が県内中位であるのに、報酬が最低であることが非常に気になる。据置きを継続してきたことが、現状に影響しているように思う。</p> <p>氏江委員が言うように一気には上げられないけれど、中位程度への引上げを今後も考えていかないといけない。</p>
本間会長	<p>佐渡市の議員報酬は底辺で、有効求人倍率は低いが、人口規模で考</p>

渡邊委員	<p>えた時に県内中位であるなら相応の報酬を考えるべきだと思う。市民感情で上げが許されないのはわかるが、どこかがリードしていかないと、いつまでも低迷してしまう。</p> <p>将来的には、モチベーションを上げていくために引き上げた方がいいという思いである。</p> <p>大企業は景気が良いのだろうが、佐渡市は、市として、思い切った策を考えているのか見えてこないため、不安が先に立ってしまう。</p> <p>据置きは、据置きでいいと思う。</p>
本間会長 委員全員	<p>わかりました。みなさんの意見は据置きという方向でいいか。</p> <p>はい。</p>
本間会長 委員全員	<p>(2)市長、副市長及び教育長の給料の額</p> <p>市長、副市長及び教育長の給料の審議を行いたいと思う。</p> <p>個人的な意見であるが、議員が据置きであるため、市長だけ上げることは考えにくいので、据置きでよろしいか。</p> <p>はい。</p>
本間会長 羽生委員	<p>(3)市議会の会派及び議員の政務活動費の額</p> <p>政務活動費について、県内で遜色ない額と思うが、いかがか。</p> <p>政務活動費の調査研究費という部分は、どのようなものがあるのか教えてほしい。</p>
事務局磯野主任	<p>視察に行く時の交通費や研修費などの経費がホームページに掲載されている。</p>
本間会長 委員全員	<p>政務活動費について据置きでよろしいか。</p> <p>はい。</p>
本間会長 藤崎委員 本間会長 委員全員	<p>(4)特別職の12月期末手当の支給月数の改正</p> <p>期末手当について、諮問事項ではないが皆さんの意見をお聞きする。</p> <p>期末手当ぐらい、勧告どおりでよいのではないか。</p> <p>よろしいか。</p> <p>はい。</p>
本間会長 事務局渡邊部長 出席者全員 本間会長	<p>人口規模が中位であるので、給料・報酬を少しずつ改善していくべきという意見があったので、次年度以降、全委員に引き上げを考慮に入れた上で、審議していただきたいと申し伝えをお願いしたいと思う。</p> <p>答申（案）の内容、文言を確認していただきたい。</p> <p>答申（案）確認～了承</p> <p>閉会のあいさつ</p>